

製品名: GCP6 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11368**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	200kDa

抗原情報

遺伝子名	TUBGCP6
別名	TUBGCP6; GCP6; KIAA1669; Gamma-tubulin complex component 6; GCP-6
遺伝子 ID	85378.0
SwissProt ID	Q96RT7
免疫原	抗血清はヒト TUBGCP6 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 741-790

背景

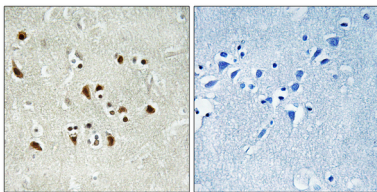
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、中心体における微小管の核形成に必要な大きなマルチサブユニット複合体の一部です。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]機能:ガンマチューブリン複合体は、中心体における微小管の核形成に必要です。配列注意:イントロ

ン保持。、類似性:GCP ファミリーに属します。、サブユニット:ガンマチューブリン複合体は、ガンマチューブリン、GCP2、GCP3、GCP4、GCP5、およびGCP6で構成されています。、

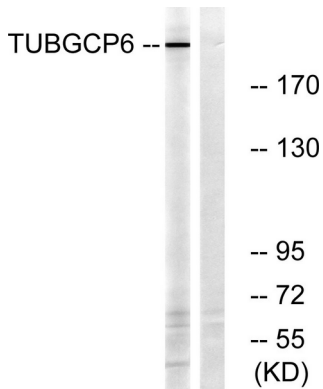
研究分野

-

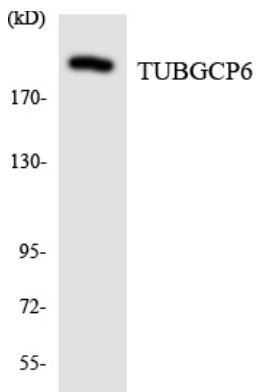
画像データ



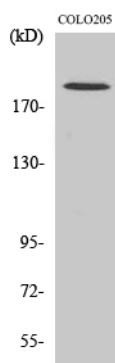
TUBGCP6 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



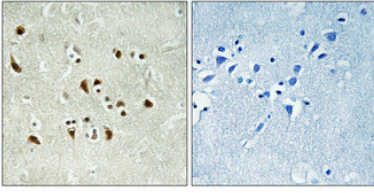
TUBGCP6 抗体を用いた COLO 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



TUBGCP6 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



GCP6 ポリクローナル抗体を 1: 1000 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。